

1 R6 までの調査

調 査	確認種数	備 考
既存調査 (H21～26)	5, 381 種	レッドリスト選定種：465 種 ブルーリスト選定種：285 種
レッドリスト改訂追加調査 (R1～3. 10 月)	2, 491 種	レッドリスト選定種：420 種 ブルーリスト選定種：276 種
岐阜市の自然情報継続調査 (R5 ～R7. 3 月)	889 種 (新規確認 15 種)	

【R7 の調査体制・方針等】（予定含む）
9 分類群 8 部会を設置し、部会ごとに**定点における調査、種を絞った調査**など、効率的な調査により、**本市の生物多様性の状況**を把握する。

2 R7 の各分類群の調査結果（中間）

調査分類群 現行調査	調査方法・場所	調査結果(中間)
植 物	・金華山や百々ヶ峰などを中心に調査を実施 ・重要種の生育記録地や生育環境を現地踏査にて確認	・岩田西で カテンソウ 、三田洞、金華山で サイハイラン を確認 ・三田洞で特定外来生物の オオハンゴンソウ を確認
哺乳類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・岐阜市内全域で調査を実施	・センサーカメラで頻繁にイノシシを確認 ・達目洞で ヌートリア を確認
鳥 類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・主に岐阜市内の長良川左岸 鏡島大橋から河渡橋までの区間等で河川と河川敷の野鳥の調査を実施	・市内での観察はここ数年されていなかったが絶滅危惧 I B 類の タマシギ を確認 ・特定外来生物の ガビチョウ と ソウシチョウ を確認したが、著しい増減はない。
爬虫類	・対象種はニホンイシガメ、その他カメ類 ・既往調査でニホンイシガメの記録がある岐阜市北西部で調査を実施	・岐阜大学周辺（新堀川、村山川）の調査で ニホンスッポン 、 ニホンイシガメ 、 クサガメ 、 ミシシippアカミミガメ のほか、交雑個体（ ニホンイシガメ × クサガメ ）を確認
両生類	・対象種はニホンアカガエル、アズマヒキガエルなど	・ ニホンアカガエル の産卵池では、産卵数が大幅に増加した。 ・ アズマヒキガエル の産卵池では、例年どおり卵のうを確認できた。
魚 類 甲殻類	・魚類は在来種のカワバタモロコ調査、外来種のコクチバス調査（シュノーケリング） ・甲殻類は在来種のミナミテナガエビ、外来種のチュウゴクスズエビ等の調査	・長良川本川では、以前多くみられたウキゴリが減少する一方、 スミウキゴリ の増加傾向がみられた。
昆虫類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・岐阜市内全域で調査を実施	・大洞と椿洞北部でギフチョウを確認 ・長良川で クツワムシ を確認 ・特定外来生物の アカボシゴマダラ が比較的普通にみられるようになった。
貝 類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・岐阜市内全域で調査を実施	・岐阜市の ヒルゲンドルフマイマイ 個体群は、核ゲノムの解析から周辺地域と遺伝子が大きく異なっており、未記載種・隠蔽種の可能性が示唆された。

3 R7 の調査結果（中間）から判明したこと

- ・市内での観察はここ数年されていなかった**タマシギ**が確認される、昨年まで確認例が減少していた**スミウキゴリ**で増加傾向がみられるなど、**岐阜市レッドデータブック掲載種の情報の蓄積**が進んだ。
- ・繁殖力が強く各地での駆除対象となっている**オオハンゴンソウ**の確認、近年確認されるようになってきた**アカボシゴマダラ**が普通に見られるようになるなど、**新たな特定外来生物の分布拡大・定着状況**が確認された。

4 確認された主な種

	
鳥類調査 タマシギ を確認 (岐阜市レッドデータブック 2023 絶滅危惧 I 類) (福井氏撮影)	昆虫類調査 アカボシゴマダラ を確認 (特定外来生物) (市民提供)

5 調査結果などの報告

- ・分類群ごとの調査結果とともに「生物多様性に迫る 4 つの危機」に関する考察、生物多様性に関する新たな知見などを含めた報告が提出される。

6 今後の自然情報継続調査について

- ・岐阜市の生物多様性の状況を把握するため、令和 8 年度以降も調査を継続する。